

エコ学区部門

エコ学区部門とは？

京都市では、環境にやさしいライフスタイルへの転換と温室効果ガスの排出量削減を図るため、地域ぐるみでエコ活動を推進していただく「エコ学区」を支援しています。

先進性や発展性のある主体的なエコ活動を実施された学区を表彰するエコ学区部門（「エコ学区特別推進賞」及び「エコ学区推進賞」）において、平成28年度に表彰された学区を紹介します。

なお、平成23、24年度に低炭素モデル地区「エコ学区」事業として先進的にエコ活動を展開していただいた26学区（各区役所・支所管内から1学区、山科区は全13学区。平成25年度京都市自治記念式典において表彰。）については、今回の表彰の対象から除いています。また、他の賞とは異なり、内申方式により対象学区を選定しています。

エコ学区特別推進賞



久我学区(伏見区)

自治連合会等が小学校と連携して、地域学習として、収穫した久我菜の種から油をとる「たねもみ」作業を行う等の地産地消に取り組みました。また、モビリティ・マネジメントとして、バス停を利用しやすくする等、公共交通の利用の促進にも取り組みました。



地域の要望で屋根と椅子が設置され、安全で利用しやすくなったバス停

エコ学区推進賞

柘野学区(北区)

モビリティ・マネジメントとして、ニュースレターの作成等を通じて、学区内を走る市バス「特37系統」の利用促進を地域住民に啓発されました。



10年かけて運行が実現した「特37系統」

滋野学区(上京区)

学区内の各種団体の連携による清掃活動や、イベントにおけるリユース食器の利用等により、ごみの減量に取り組みました。



学区内の各種団体が協力した清掃活動

静原学区(左京区)

学区内の枯れ葉や剪定枝を用いて堆肥化を行うとともに、学区内を流れる川での不法投棄の撤去に取り組みました。



学区内の様々な場所に置かれた堆肥化用のコンポスト

銅駝学区(中京区)

「ごみ調査隊」を結成し、NPO法人と連携して、清掃活動を行うとともに、ごみの収集記録や分類調査をすることで、環境意識の向上に取り組まれました。



子どもを中心に様々な人が関わっている「ごみ調査隊」